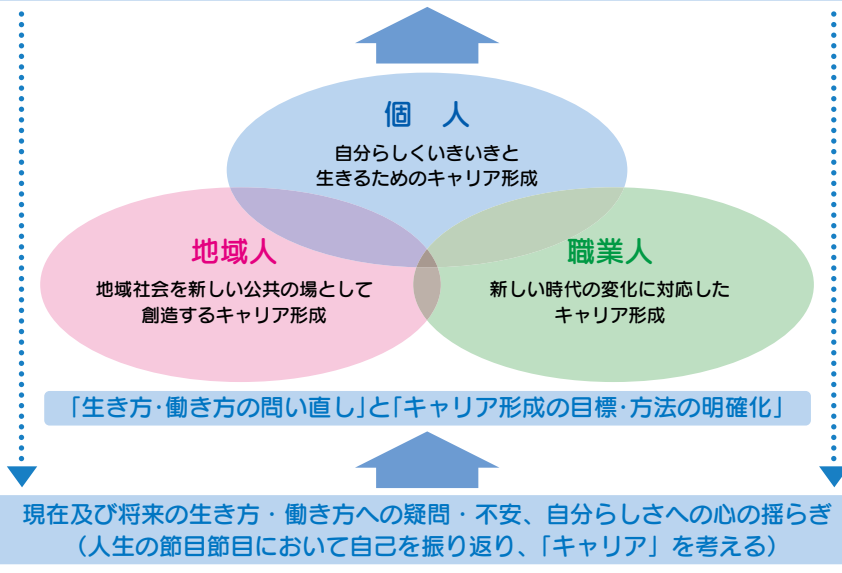


# 自分のキャリア(生き方・働き方)は 自分でデザインする そして、自分の地域は自分でつくる

## 「キャリアデザイン」のイメージ

自分のキャリア(生き方・働き方)は自分でデザインし、個人・地域人・職業人として総合的な自己成長・自己実現に向かって、必要な能力の開発・向上を図り行動する

個人・地域人・職業人としての総合的な自己成長・自己実現



## 群馬キャリアデザイン支援事業

- (目的)
- 1 一人ひとりが生涯輝き続ける充実した豊かな人生の実現
  - 2 新しい地域社会の創造への関心と参画意欲の醸成

# 群馬キャリアデザイン支援講座

平成19年度実施概要

## 現代的課題編「キャリアデザインのための経済・金融学習」

5/19(土)・25(金)・6/1(金)・8(金)・15(金)〔全5回〕受講者数:150名

【講演】キャリアデザインのための経済・金融学習～自分でお金を守る時代に～

【講義】人生90年時代のライフプラン～夫婦で学ぶ退職後の生活設計と資産管理～

野村証券(株)投資情報部次長 山木戸啓治

【講義】経済・金融の基礎知識(1)～株式会社と株式市場の仕組み～

【講義】経済・金融の基礎知識(2)～預金・株式・債券の違い～

野村証券(株)ファイナンシャルアドバイザー課長 天野 弘

【グループワーク】自己責任時代のマネープラン～守るお金、楽しむお金、育てるお金～



野村証券(株) 山木戸氏



幅広い年代層の受講者

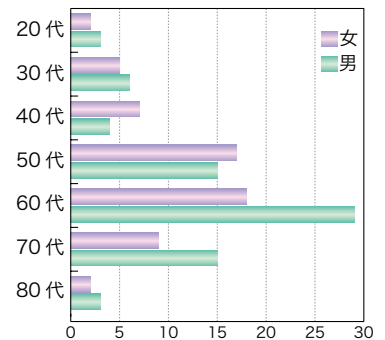


グループワークの実際

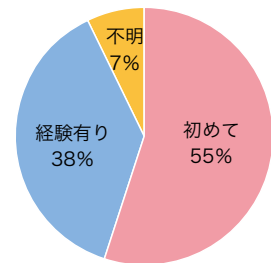
### 受講者の感想

- ・視点は金融であるが、目指すものは自立した社会人であり、地域づくりと同様に大切な内容であった。(40代男性)
- ・自己責任にて、お金の管理の仕方の難しさ、楽しさを知ることができた。(40代女性)
- ・経済は私たちの生活に直結している問題であり、学び考えていかなければならないと改めて感じた。(60代女性)

### 受講者の年代別内訳



### 当センター事業への参加経験



半数以上の方が新たに当センターを利用されました。

## キャリア教育編「女性のキャリア形成・若者の社会的自立」

11/10(土)・17(土)〔全2回〕受講者数:61名

【講演】女性のキャリア形成を考える～キャリアの開発と継続の視点から～

(株)キャリアネットワークキャリアアドバイザー 堀内 弘美

### 受講者の感想

- ・これからのライフプラン、キャリア開発を考える上でとても参考になった。(20代女性)
- ・今後の働き方を迷っていたので、良いヒントをたくさんいただいた。自分一人でも悩まなければいけないような気がしていたが、上司や家族のサポートの重要性が指摘され、安心感を得られた。(30代女性)
- ・派遣社員として仕事をしている中で、スキルやキャリア等について考え迷っているところだった。具体的なお話を聴いて、共感したり、気づいたりしたことがたくさんあった。(40代女性)

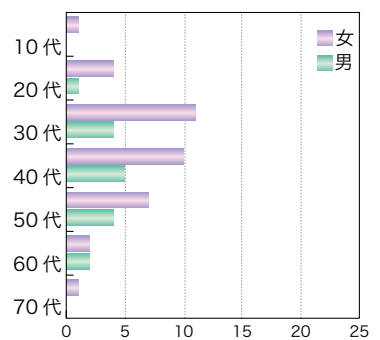
【講演】若者の社会的自立とキャリアデザイン～キャリア教育の現場から～

船橋情報ビジネス専門学校企画広報室長 鳥居 徹也

### 受講者の感想

- ・定時制の生徒たちが、まさにこの問題を抱えているので参考になった。普段感じていることと考えていることの間違っていたと自信が持てた。(50代女性)
- ・「心の血液型」によるコミュニケーションのとり方、「答えではなく気づきを与える」というメンターの役割、メンターになるための「三つの合わせ技」等、明日からすぐに実践させていただきたい。(50代女性)

### 受講者の年代別内訳



(株)キャリアネットワーク 堀内氏



船橋情報ビジネス専門学校 鳥居氏

## 地域活動編「キャリアデザインとしての新しい地域づくり」

7/7(土)・14(土)〔全2回〕 受講者数:74名

**【講義】** 新しい時代における地域づくりの視点とその進め方  
～「団塊シニア」の地域デビューを期待して～

常磐大学コミュニティ振興学部教授 坂本 登

### 受講者の感想

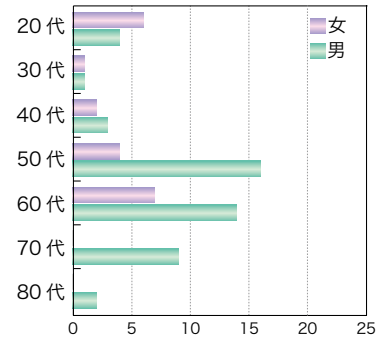
- ・今まで会社人間として活動をしていて、地域の活動に全く無関心だったが、今回の講義を受け、これからは自分から進んで地域活動に参加するための心構えができた気がする。(60代男性)
- ・地域デビューの着眼点や身近な具体例を分かりやすく話していただき、有益だった。日常にもっと目を向けて、小さくてもできるところから始めることが大切だと思った。(60代女性)

**【講義】** “そこにあるもの” から始める「地元学」～資源と経済の地域循環をつくる～  
ローカル・ジャンクション21代表 朝田くに子

### 受講者の感想

- ・地元学の概念や我々が今何をすべきかという問題意識、動き出すきっかけづくりができて良かった。(20代女性)
- ・まずは自分自身が動くことが大切だと思った。(20代女性)
- ・初めて聞いた「地元学」、「そこにあるもの」の活用という発想が面白かった。住んでいる町内をよく知ることが大事であり、そこから見えてくるものがあるということを感じた。(60代男性)

受講者の年代別内訳



常磐大学 坂本教授



ローカルジャンクション21 朝田氏

## 地域活動実践編「インターネットを活用した新しい地域づくり」

12/1(土)・8(土)・15(土)〔全3回〕 受講者:80名

**【講義】** ICTを活用した新しい地域づくり～人と人がつながるメディア～  
文部科学省生涯学習政策局地域政策調整官 伊藤 康志

**【事例研究】** ICTを活用した自治会活動  
高崎市上川原団地自治会達磨プロジェクト 中村 尚雄  
前橋市高井自治会ホームページ管理人 小島 重光

**【事例研究】** ICTとカフェを活用した地域づくり  
株式会社イータウン社長 斉藤 保

**【講義】** キャリアデザインと新しい地域づくりへの期待  
群馬大学社会情報学部教授 森谷 健

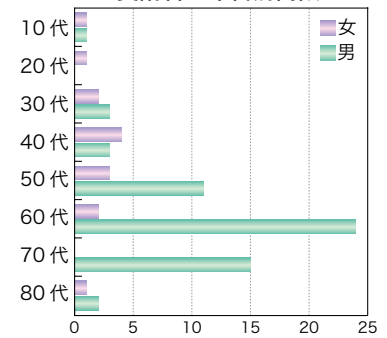


文部科学省 伊藤氏 高崎市 中村氏・前橋市 小島氏 イータウン 斉藤氏 群馬大学 森谷教授

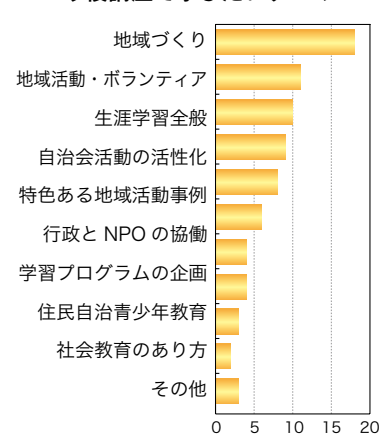
### 受講者の感想

- ・定年を迎え、これから何が自分にできるかを学び、地域活動やボランティア活動に参画してみたい。(60代男性)
- ・情報の共有化が必要な自治会活動では、ICTの活用が有効な手段である。日常的な役員と住民との交流を回覧板、家庭訪問、ICT、集会、行事などいろいろな方法を使って行うことが重要だと思った。(60代男性)
- ・インターネットのデメリットについては、特に周到な配慮が必要であることが分かった。(70代男性)

受講者の年代別内訳



今後講座で学びたいテーマ



# 群馬キャリアデザイン支援事業の今後の展開

平成20年度は、これまでの「キャリア教育編」と「地域活動編」に加え、新たに「地域リーダー編」及び「現代的課題編」として仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）等を取り上げ、新しいプログラム開発と実施に努めます。

## 普及・啓発

普及資料の発行、公開講座等の開催（キャリアデザインの社会的背景・考え方・必要性等）

## 学習支援

### 平成20年度支援講座構想

#### 支援講座Ⅰ

##### （キャリア教育編）

**趣旨：**青少年の社会的自立の現状と課題についての理解を深め、大人の役割について考える。

**期日：**6/14(土)・21(土)

**対象：**教育関係者、学生及び県民一般

**定員：**50人

#### 支援講座Ⅱ（地域活動編）

**趣旨：**地域づくりについての基本的な理解を深め、新しい地域づくりへの参画について考える。

**期日：**7/5(土)・12(土)

**対象：**団塊世代を中心にした県民一般 **定員：**50人

#### 支援講座Ⅳ（地域リーダー編）

**趣旨：**新しい地域づくりの担い手として求められる知識や技術について学ぶ。

**期日：**12/6(土)・13(土)

**対象：**団塊世代を中心にした県民一般 **定員：**50人

#### 支援講座Ⅲ

##### （現代的課題編）

**趣旨：**現代的課題としての仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についての理解を深める。

**期日：**10/18(土)・25(土)

**対象：**職業人、経営者及び県民一般

**定員：**50人

## 学習成果の活用支援

### NPOやボランティア活動における地域活動支援

- ・地域活動を行う各種団体の紹介等
- ・NPO等地域活動団体との連携

### キャリア教育における活動支援

- ・学校、家庭、地域でのキャリア教育支援
- ・学校教育行政、学校現場との連携等

## ◇ キャリアとは…

これまで「キャリア」という言葉は、一般的には「職歴」、すなわち職業人としての経歴を指して使われていました。しかし、これからの「キャリア」は、単に職業人としての「働き方」のみに限定してとらえるのではなく、自己成長・自己実現を図る個人としての「生き方」、また地域の一員として新しい地域社会の創造に向けた地域人としての「生き方」を含むものとして統合的にとらえることが必要です。

## ◇ 群馬キャリアデザイン支援事業とは…

社会の急激な変化の中で、現在及び将来の生き方・働き方への疑問・不安、自分らしさへの心の揺らぎ等により、人生の節目節目において自己を振り返り、自分のキャリアを考えることが必要になっています。また、分権型社会の到来により、地域社会を「新しい公共」の場として創造するため、一人ひとりのキャリアや学びの成果を多様な地域活動に活かすことが求められています。

そこで、県生涯学習センターでは、多くの方々が今までのように「職業人」中心の生き方から、「個人」としても「地域人」としても自己成長や自己実現を目指して、必要な能力の開発・向上を図り、調和のとれた自分らしい生き方・働き方を計画し、実行していくための群馬キャリアデザイン支援事業を行っています。